

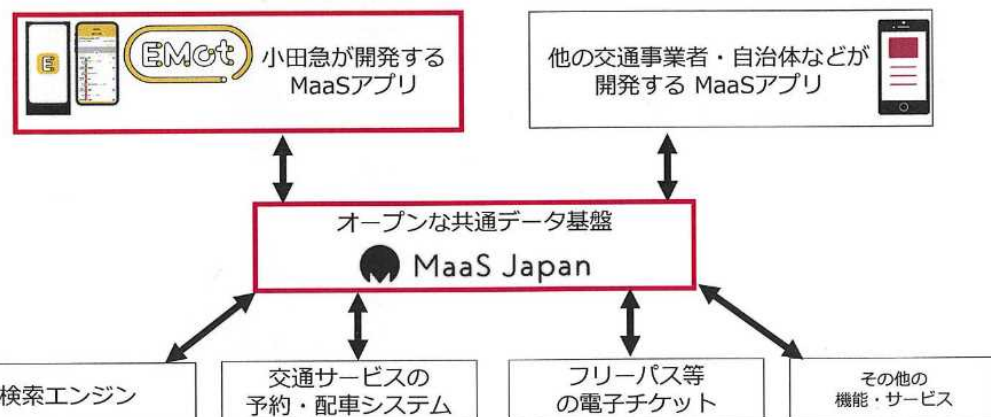
MaaSの実証実験

【第1弾】

- 観光需要に対する経路検索システムの有益性の検証を目的として、ヴァル研究所の経路検索サイト「MIXWAY」を活用し、出発地から目的地までの交通手段や十勝管内の観光コンテンツを見える化。
- 十勝管内を目的地として検索した場合、路線バスが乗り放題となる企画切符「VISIT TOKACHI PASS」やレンタサイクル「とっちゃん」、なつぞらに関わる観光施設等を紹介。
- 実証実験期間中、約1,300回のサイト利用があり、約200名から得られたアンケートでは、6割が「使いやすい」との評価であった。

【第2弾】

- MaaSの有益性の検証を目的として、アプリを活用し、経路検索に加え、予約・決済を可能とする仕組みを構築。
- 日本初の共通データ基盤である「MaaS Japan」を活用したMaaSアプリ「Emot(エモット)」を採用（第1弾と同様に検索エンジンはヴァル研究所が開発）。



帯広駅周辺案内表示の整備

- 昨年度、帯広駅や周辺案内板の設置や移動を一部実施。
- 今年度も引き続き、交通事業者から要望のあった既存標識の有効活用や案内表示の新設・移設などについて検討を進めており、具体的な対応内容を整理した段階で、管理者である帯広市と調整した上、順次整備を行っていく予定。



コミュニティバスの状況把握

- 路線バスとのダイヤ接続の点検として、コミュニティバスの運行状況調査を実施。
- 今後は、ダイヤ接続の見直しを検討していくとともに、調査データのオープンデータ化を進めていく予定。

ノーカーデーの取組

- 道内公共交通の需要拡大と利用定着を推進するとともに、低炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルのさらなる普及を図るため、マイカー通勤者を対象に、ノーカーデーの取組を実施。
- 昨年度、振興局職員を対象に試行実施したが、今年度は、道に加え、国、市町村、民間企業にも参加いただき、本格実施。

【取組期間】令和元年9月20日（金）～10月31日（木）

【実施結果】参加者427人、延べ日数1,921日、参加団体24団体



みんなで乗れば、
未来が変わる。
考えよう。行動しよう。公共交通の未来。